

# 開閉器付地上設置形変圧器塔

## ■ まえがき

当社は、以前から配電線の地中化ニーズに適合した様々な地上設置形変圧器塔（以下、変圧器塔）を開発し、納入してきた。現行品の主流は、高圧開閉器を内蔵していないコンパクトタイプの変圧器塔である。

この度、保守性向上を目的に高圧開閉器を内蔵した開閉器付変圧器塔を、中部電力（株）殿と共同で開発したので紹介する。

## ■ 開発コンセプト

保守性向上を目的に高圧開閉器を内蔵し、かつ、現行品の外形寸法と機能を維持する製品とする。

### ① 基本仕様の維持

変圧器容量、高圧回路および低圧回路は、現行品と同一仕様とする。

### ② 高圧開閉器の内蔵

高圧開閉器は、現行外形寸法を維持するため、コンパクトなガス開閉器を内蔵する。

### ③ バイパスケーブル接続機能の維持

高圧側はバイパスケーブルが接続できるT形端末の維持採用、低圧側は低圧分岐盤から仮送電時にバイパスケーブルが接続できる機能を維持する。

### ④ 外箱の現地取替機能の維持

変圧器塔は、車の接触などによって損傷する可能性があるため、現行品と同様に現地で外箱の取替できる機能を維持する。

## ■ 特長

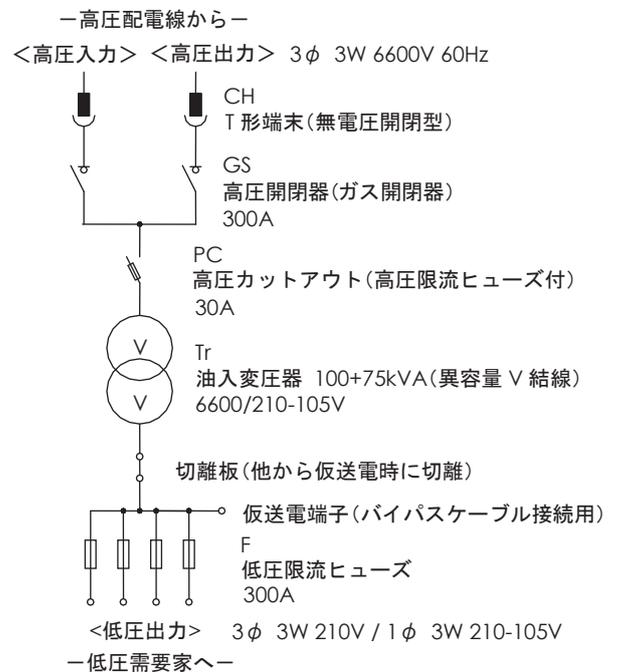
### ① 保守性の維持・向上

高圧開閉器を内蔵することによって、高圧入力／出力別に高圧回路の開閉が可能となる。これにより、配電線故障時等による停電範囲の縮小が図られる。

また、高圧開閉器には、現行品と同一の高圧カットアウト（高圧限流ヒューズ付）、T形端末が使用できるガス開閉器を採用し、新たな部材の採用を抑制した。これによって現行と同レベルの保守性の維持を図った。

### ② 現行品との互換性の確保

変圧器塔の据付面積および基礎ボルト固定位置を現行品と同一とし、リプレース時の現行品との互換性を確保した。



## ■ 単線結線図



外形寸法 : W1500×D600×H1100mm  
 総質量 : 1265kg

## ■ 外観（100+75 kVA）



高圧側



低圧側

## ■ 内部構造（外線接続部）